

週刊 エクステリア EXTERIOR weekly

発行所
株式会社 協報
発行人 金井 徹
〒556-0016 大阪市浪速区元町3-10-4(晋陽ビル)
TEL 06-6631-8892 FAX 06-6631-8891
E-mail info@exterior.co.jp
東京 〒101-0035 東京都千代田区神田錦町13
TEL 03-5295-0801 FAX 03-5295-0802
E-mail kyoho@jade.dti.ne.jp
URL http://www.exterior.co.jp/
発行日 毎週火曜日(但し第5週火曜日は休刊)
購読料 年間 23,000円(税別・前納)

ライフスタイル系商材業界動向

“ゆとり感”を何処に求めるか

屋根、床材、ファニチャー、水回りへの対応時代

住宅関連が先行の閉塞感を感じさせてきている。コンテナポラリーから南欧風、そしてモダンといった流行にも一種の壁が見えてきつつある。住宅市場の将来を見てハウスメーカーは外空間(エクステリア)を呼び込むことで新しい付加価値をアピールしようとしてきている。家族・友人達との団らんスペースを「アウトドアリビング」としてアピールする一方で眺望の広がりや無柱の屋根によって、「内から見る外」を重視する思考を訴えるなど、いよいよ住宅がエクステリアを切り離せない時代に来ている。これらによって、軒天井付屋根、木製、木調床材、人工芝、照明器具、水回り(プール、立水栓、シャワー、シンク等)の需要が一気に開花する気配が出てきた。

住宅メーカーのPR戦略に変化

エクステリアという価値をどう取るようか。近年の大手ハウスメーカーの動きは、値空間をどう取り込み、ウスメーカーの動きは、位置づけるのか。若年層「ゆとり感」を何に求め、何を求めるかというテーマを、外への対応か、それとも買取るかというテーマを、外への屋根材の見直しを図化に向かってそれは広がるべきだ。

完成度を高める役割分担



ゆとりある暮らしを具現化(TAYAS)

屋根、床、壁が建材の完成度は高まる。一方でゆとり感にはそれなりのハンドユーザーに向かう専門店の存在が欠かせない。細かな経路と知識が必要で中・小企業向きといえる。それゆえ、これらを業界に取入れ込んでゆくと、専門業者は、屋根、床、壁の柔軟で粘り強い対応力が鍵となる。逆にいえばこれらの取り組み方がそが生き残り品をうまく配備することによってその完成度は高まる。

続新市場創造記

雪中松 白為 健全

機を見て盛を創る

①

階段を一步步登ってかと思っている。ただや実には強くなっていること。いくと視界が急に開けてみくもにつき進んだ時をあまり気付かないもの。麓の街や遠くの山々が一代、経験を積んで世界がだ。麓を見ると小さいけれど上を目指した時代。頂上、れども上を目指すたくさる。しかし、扱う品々は経験した人は多いと思から見る雄大な景色の中んの人影が見える。草創地球のもたらす幅広い素

EX舞台・プロローグ

な経験はできないはずである。それでは我々は、山の何合目にいるのだろ驚き、愕然とすることもくの人達が集まってお松白、健全を為す」は、うか。山の高さにもよるある。しかし、歩いてきり、山そのものも確実に「雪にしおれず青々とが富士山でいえば五合目大さくなってきているのしている松や柏を目指すといったところではないが、かつての自分より確を実感する。山は動いて